

内定へプログラム開催

就職課

就職課では4年次以上の企業が参加します。私の学生向けに内定に直結するプログラムを開催します。

■学内企業説明会inサテライト
6月24日(水)、7月1日(水)、2日(木)、3日(金)。各回20社前後

■就活パワーアップ講座
3年次生向けには、就活基礎講座「押さえてお

(公務員行政職対象、神田キャンパス)
7月7日(火)。公務員試験でも面接対策が必須です。この講座を受講してパワーアップを!

活基礎講座「押さえてお

「べき就活マナー」「大きい。英語を使用し

講座の実施教室・時間

カルガリー大生

おもてなしに感謝

文学部生とお茶会

カナダからの短期留学

文学部・板垣則子ゼミ

生と親睦を深めようとして

「メコン諸国における

影響についての研究」は

「日本語・日本事情プ

カルガリー大生20人と

同プログラムは、外国

人の日本語習得を目的に

年次生ら22人が参加。生

出身地や日本の言葉、好

2005年度から

で10回目。引率の

講師(日本語専任

専大生の案内でい

なおり、毎年このよ

ている人も多い」

と話した。

シリーズ 商学部50周年

7

メコン川流域のベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー。外国企業の生産拠点として経済成長を遂げ、国民所得が向上した近年は消費市場としても期待され

を物流と流通を切り口に把握したい。現場の課題を積み上げ、中小企業の視点で対応策を探るのがねらいです」と岩尾詠一

現場を見てわかること

「現地の企業、あるいは工場進出を考えている

川崎の中小企業に、効率

はタイ、食料と電力の供給

メコン諸国の物流を 足で調査し情報発信

国境をまたいだ陸上輸送の大動脈が相次いで

自由な移動が新たな経済

沿道の山村にもパラ

ボラアンテナが目立ち、

金融機関のATMが点在

「現地の企業、あるいは工場進出を考えている

「原材料の調達から生産、物流、流通まで、整

統一されれば物流への効

果は大きい。

岩尾教授は4年前から

国際研究力

岩尾教授は4年前から

「現地の企業、あるいは工場進出を考えている

川崎の中小企業に、効率

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

はタイ、食料と電力の供給

品名	数量	金額	品名	数量	金額
鉄鋼	12,345	1,234	自動車	5,678	567
機械	9,876	987	電気機器	3,456	345
化学製品	7,654	765	繊維	2,345	234
食品	6,543	654	木材	1,234	123
医薬品	5,432	543	石油	0,123	12
農産物	4,321	432	その他	0,012	1
合計	46,477	4,647	合計	13,846	1,384



川崎商工会議所との共同シンポジウムで講演する岩尾教授。メコン地域の物流の実態について説明した=3月、川崎市で



趣味や日本文化について

2015年度の長期交換留学生に8人

交換留学生及び交換留学奨

【英語圏】

- 学生(第2期)が次の8人に決まった。氏名と留学先は左記のとおり(敬称略)。
- 高橋裕国際交流センター長と学生たち
- サスケハナ大学(米国)
- 市岡正寛(経済4)
- 早川諒(経営4)
- 田巻直樹(文4)
- 佐藤嘉郎(文3)
- 近藤祐美(文2)
- オレゴン大学(米国)
- 佐藤大知(経済3)
- 浦田愛美(文4)
- 門倉明日香(文3)

外国語の又又必 外国語教育研究室

学生が利用できるe-learning教材「Net Academy2」の学習画面とCALL自習室



英語

宮田 宗彦 商学部講師

外国から日本に来た力士が、数年間日本で生活しただけで日本語を学び、上手に日本語を操っているのをテレビなどでご覧になったことがありますか。どうして彼らはあんなにはやく日本語を覚えることができるのでしょうか。

CALL学習のすすめ

外国語を学ぶ時の重要な条件に学習環境が挙げられます。理想的な学習環境とは、学んだ外国語を繰り返し使うことができる環境だといわれています。外国から日本へやって来る若いお相撲さんたちは、母国語の通じない相撲部屋で日本語を学び、毎日の生活で繰り返し日本語を使っているうちに、日本語を習得してしまうのでしょうか。一方で、私たちは学校で10年以上も

英語を学んでいるのに、いっこうに上手になりません。長年勉強したってちょっとも達しない原因は同じ要因によるものではないでしょうか。日本における英語の授業では、言葉を学ぶ環境は整えられていますが、肝心の「使う」環境がなかなか整備できません。どうすればこの問題を解決できるのでしょうか。実はこの学習環境の問題を解決する良い方法の一つがCALL学習なのです。CALL学習を利用すれば、これまでの日本での英語の授業ではなかなか実現できなかった「英語を使う」環境がネットに擬似的に創造できるので、ネット上で存分に英語を使う練習ができるのです。CALL学習を上手に利用してみたいかがでしょうか。きっと上手に英語が使えるようになりますよ。 ※短縮版。全文はCALL教室ホームページで

公開講座情報

50人参加無料
社会知性開発研究センター
研究センター1事務課
E-mail: social@acc.seishin-u.ac.jp

第10回高校生のための経営実践講座「高校生に愛されるファストフード店をつくらう」
▽日時 8月2日(日) 10時30分~12時30分 場所 生田キャンパス10号館3階
対象 高校生(学年不問) 参加費無料
▽日時 7月4日(土) 9時30分~10時2分 集合場所 小町駅前
※小雨決行 清掃場所 ①水道橋駅前 ②神保町駅前 ③九段下駅前
※申し込みは窓口(神田学生生活課、二部事務課)またはメール(Kakusei@acc.seishin-u.ac.jp)。6月29日締め切り。

キャンパス情報

第49回黒門祭 学術文化会に所属するサークルが、発表・展示を行い、日ごろの研究の

32265・6824